

非認知能力の評価・育成

～ 予測困難な時代の中で生きる力を育むため、認知能力に加え、非認知能力の育成に取り組む ～

目指す児童生徒の姿

自分と他者をかけがえのない存在と認識した上で、課題を自分事化し、自ら考え、判断して、責任ある行動をとる人

専門家委員会

○研究者

- 大島 みずき 群大准教授 [幼児教育]
 - 田熊 美保 OECD シニア政策アナリスト [教育スキル局]
 - 座長 中室 牧子 慶應大教授 [教育経済学]
 - Patrick Newell 至善館教授 [SSES_NPM、SEL研究]
- (五十音順)

○教育実践者

- 今井 朝子 氏 [SSES_NPM、自由ヶ丘学園]
- 金子 弘幸 氏 [国際バカロレア]
- 工藤 勇一 氏 [横浜創英中高]
- 葉一 氏 [教育系YouTuber]

○県教委、市町村教委、学校

OECD 社会情動的スキル調査 (SSES) の分析・活用方法の検討

＜非認知能力の把握方法、把握データの利活用方法＞

【R5】 本格的な検討に向けた準備 (先進事例等の様々なノウハウの蓄積)

【R6・7】 R5末の調査結果を踏まえた検討

【R8】 専門家委員会からの提言

→ 具体的な施策へ反映

横浜創英中高と連携した実践研究

＜生徒の自主性・自律性を生かした取組により、Agency育成を目指す＞

【R5】 実践研究に向けた準備 (中学4校、高校2校)

藤岡市立小野中学校、下仁田町立下仁田中学校、川場村立川場中学校、玉村町立南中学校
前橋南高校・高崎女子高校(SAH: Student Agency High School)

(○横浜創英中高と連携した研究体制の構築 ○協定締結
○管理職・教員の理解醸成 ○実践内容検討 ○人事交流)

【R6・7】 具体的な取組の開始

【R8】 県内の中学校、県立高校へ展開

国際バカロレア (IB) の導入

＜未来へ責任ある行動をとる態度とスキルを育成する国際的教育プログラム。非認知能力を意識した教科指導＞

【R5～】 認定校申請・IB認定に向けて検討

【R5】 社会情動的スキル調査の実施 (県内79高校)

結果

群馬モデルの確立

県内学校への横展開

群馬モデルの全国発信

「始動人」輩出 ⇒ 県民一人一人と社会のWell-beingの実現

Agency: 自分の人生および周りの世界に対して、良い方向に影響を与える能力や意志を持つこと

SSES: 社会情動的スキル調査 (Survey on Social and Emotional Skills)

SSES_NPM: 調査統括責任者 (National Project Manager)

SEL: 社会性と情動の学習 (Social and Emotional Learning)

IB: 国際バカロレア (International Baccalaureate)

Well-being: 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む

日本で群馬が唯一参加